令和４年　９月　２日

関係各中学校長　殿

柔道部顧問　殿

大分県中学校体育連盟

会長　西　川　幸　宏

大分県柔道連盟

 会長　穴　井　隆　信

（公印省略）

**令和４年度大分県中学校新人柔道大会の開催について(ご案内)**

　残暑の候、貴殿におかれましては益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。また、平素より中学校柔道の振興・発展に格別のご理解とご支援を賜り衷心よりお礼申し上げます。

　さて、標記大会を下記の要領により開催いたしますので、貴校選手の出場につきまして格別のご配慮をお願いいたします。

記

**１，名　　　称**　　　　第４７回大分県中学校新人柔道大会・第３７回大分県中学校女子新人柔道大会

**２，主　　　催**　　　　大分県中学校体育連盟・大分県教育委員会・大分県柔道連盟

**３，後　　　援**　　　　公益財団法人大分県スポーツ協会　・　大分合同新聞社　・　ＮＨＫ大分放送局

　　　　　　　　　　　ＯＢＳ大分放送　・　ＴＯＳテレビ大分　・　ＯＡＢ大分朝日放送

**４，期　　　日**　　　　令和４年１０月１５日（土）～１６日（日）

**５，日　　　程**　　　　１０月１５日（個人戦）　　　　　　　１０月１６日（団体戦）

　　　　　　　　　　　集　　合　　８：３０　　　　　　　　　集　　合　　８：３０

　　　　　　　　　　　計　　量　　８：５０～　９：３０　　　計　　量　　８：５０～　９：２０

　　　　　　　　　　　監督会議　　９：４０～１０：０５　　　監督会議　　９：３０～　９：５０

　　　　　　　　　　　開 始 式　１０：１５　　　　　　　　　試合開始　１０：１０

　　　　　　　　　　　試合開始　１０：２５　　　　　　　　　表　　彰　試合終了後

表　　彰　 試合終了後**※県総体とは違い１日目が個人戦、２日目が団体戦です。**

**６，会　　　場**　　　　コンパルホール５階体育室

**７，参加資格**　　　（１）参加選手は、大分県中学校体育連盟校に在学し、学校教育法に基づく当該中学校の１・２年生で、事前に配布した「大会参加確認書」を校長に提出し、校長が参加を認めた者。

　　　　　　　　　 　（２）監督及びコーチは、出場校の教職員とする。但し、コーチは外部指導者も認めるが、大分県中学校体育連盟に登録した者に限る。（コーチは、審判を必ず行う。）

　　　　　　　　　　 （３）参加選手は、令和４年度全日本柔道連盟に登録した者に限る。

**８，階級及び**　　　 （１）個人戦

　　**チーム編成**　　　　　①各階級の体重は次の通りとする。（男子８階級、女子８階級）

　　　　　　　　　　　　　　男子 ５０ｋｇ級(50kg以下)　　　　　　 ５５ｋｇ級(50kg超～ 55kg以下)

 ６０ｋｇ級(55kg超～60kg以下) ６６ｋｇ級(60kg超～66kg以下)

７３ｋｇ級(66kg超～73kg以下) ８１ｋｇ級(73kg超～81kg以下)

９０ｋｇ級(81kg超～90kg以下)　　 ９０ｋｇ超級(90kg超～)

　　　　　　　　　　　　　　女子 ４０ｋｇ級(40kg以下)　　　　　　　４４ｋｇ級(40kg超～44kg以下)

 ４８ｋｇ級(44kg超～48kg以下)　 ５２ｋｇ級(48kg超～52kg以下)

５７ｋｇ級(52kg超～57kg以下)　　 ６３ｋｇ級(57kg超～63kg以下)

７０ｋｇ級(63kg超～70kg以下)　　 ７０ｋｇ超級(70kg超～)

（２）団体戦

　　　①選手・監督は各中学校単位とする。

　　　　　　　　　　　　　②男子は監督とコーチ各１名・選手５名・補員２名、女子は監督とコーチ１名・選手３名・補員１名のチーム編成とする。（満たない時は、男子３・女子２名より可）

　　　　　　　　　　　　　③オーダーは、最も体重の重いものを大将とし、以下体重順に編成する。

**９，競技方法**　　　（１）個人戦

①　男女ともトーナメント方式によって行う。

②　得点差が無い場合は、延長戦（ゴールデンスコア＝ＧＳ）により勝敗を決する。

③　3位決定戦を行う。

（２）団体戦

①男女共参加チーム数によりパート数を決め、予選リーグ（３チームリーグを基本）を行い各パート上位２チームにより決勝トーナメント戦を行う。

（予選同パートは決勝トーナメント１回戦で対戦しないようにする。）

　　　　　　　　　　　　　②予選リーグの順位は、次の方法により決定する。

　　　　　　　　　　　　　　(a) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

　　　　　　　　　　　　　　(b) (a)において同等の場合は、勝ち数の合計による。

　　　　　　　　　　　　　　(c) (b)において同等の場合は、勝ちの内容により決定する。

　　　　　　　　　　　　　　(d) (c)において同等の場合は、負け数の合計による。

　　　　　　　　　　　　　　(e) (d) において同等の場合は、負けの内容により決定する。

　　　　　　　　　　　　　　(f) (e)において同等の場合は、１名による代表戦（自由代表）で決定する。

　　　　　　　　　　　　　③トーナメント戦の勝敗は、次の順によって決定する。

　　　　　　　　　　　　　　(a) チーム間における勝ち数の合計による。

　　　　　　　　　　　　　　(b) (a)において同等の場合は、勝ちの内容による。

　　　　　　　　　　　　　　(c) (b)において同等の場合は、１名による代表戦（自由代表）により決定する。

**１０，競技規則**　　　 （１）「国際柔道連盟試合審判規定（２０２２年４月１日施行の新ルール）」及び国内における「少年大会特別規定」による。また、令和４年度全国中学校柔道大会の規定を適用する。

　　　　　　　　　　 （２）勝敗の判定基準は、団体戦においては「一本」「技有」または「僅差（指導の差

２以上）」とする。個人戦における優勢勝ちの判定基準は、「技あり」、または「僅差」以上とする。ただし、「僅差」は「指導の差が２以上」とする。「指導の差が１」以内の場合は、ＧＳによる延長戦を行う。「指導」差が上回った時点で試合終了とする。

　　　　　　　　　　 （３）団体戦（決勝トーナメント・予選リーグ）の代表戦は自由代表とし、個人戦の勝敗の判定基準

　　　　　　　　　　　　　と同様とする。３分間の本戦で得点差がない場合は、延長戦により勝敗を決する。

　　　　　　　　　　　　　 延長戦による勝敗の決定方法は、個人戦と同様とする。

　　　　　　　　　　 （４）優劣の成り立ちは、以下のとおりとする。

　　　　　　　　　　　　　　　「一本」＝「反則勝ち」**＞**「技有」**＞**「僅差」

（５）試合時間は、団体戦・個人戦ともに３分間とし、延長戦は無制限とする。

（６）柔道衣にゼッケン（学校名・名字入り）を次の要領で縫い付けて出場すること。

　　（書体は太字ゴシック体とする。明朝または楷書でもよい。）

　　　①布地は白とし、サイズは、横３０～３５ｃｍ、縦２５～３０ｃｍとする。

　　　②名字（姓）は上側２／３、学校名は下側１／３とする。

　　　③男子は黒色、女子は濃い赤色とし、はっきりと記名する。

　　　④縫い付ける場所は、後襟の下から５ｃｍ～１０ｃｍ下部の位置とし、周囲と

　　　　対角線を強い糸で縫い付けること。

　　（７）女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のＴシャツまたは半袖

レオタードを着用すること。なお、Ｔシャツのマーキングについては、全柔連が

　　　　　　　　　　　　　　定める規定（平成２５年４月１日より施行）に準ずる。

　　　　　　　　　　　（８）柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーターを着用して受けること。

　　　　　　　　　　　（９）個人戦では、選手の身体的負担を考え、試合終了から次の試合までの間隔を５分間とる。

**１１，組合わせ**　　　　団体戦、個人戦ともに県中体連総務委員会にて、各地区を考慮し抽選により決定する。

**１２，参加費**　　　　団体戦　男女各　４，０００円　　　個人戦　１人　６００円　　(当日受付で徴収）

**１３，申し込み**　　　　（１）必ず校長及び記載責任者の押印を行う。

　　　　　　　　　　　（２）申し込み期限は、**令和4年９月２1日(水）１７時まで必着。**

以後はいかなる場合でも受付を行わない。

　　　　　　　　　　　（３）申し込みは、大分県柔道連盟のホームページよりデーターをダウンロードして入力し、申し　　 込み用紙を印刷して申込先に送付すると共に、そのデーターをメールで申込先に送信する。　　「応援入場者名簿」については後日お知らせします。

　　　　（男子団体は様式１、女子団体は様式２、男子個人は様式３、女子個人は様式４）

（４）郵送（申込）先

　〒879-5421　由布市庄内町柿原440　 由布市立庄内中学校内　　　後藤　義治　宛

　　　 学校℡：097-582－0014　　℡：090-2511－9127　 Mail：gotou-yoshiharu@oen.ed.jp

**１４，そ の 他**　　　　（１）個人戦のみの選手15日計量。個人戦と団体戦出場選手は15日・16日両日計量を行う。

　　　　　　　　　　　（２）柔道衣（ゼッケンを含む）は、公益財団法人全日本柔道連盟柔道衣規格に合格

　　　　　　　　　　　　　　した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。（IJF：赤枠　全柔連：赤番号）

　　　　　　　　　　　（３）申し込み後の団体戦の選手変更は、大会前々日（10月13日）の午後５時までとする。

　　　　　　　　　　　（４）要項や申し込みについて不明な点は、申し込み担当まで連絡をお願いします。

　　　　　　　　　　　（５）大会参加にあたっては、学校代表としてふさわしい服装・身なり・行動を心がける。

　　　　　　　　　　　（６）脳震盪の対応について指導者及び選手は下記事項を遵守する。

　　　　　　　　　　　　　①大会１ヶ月前以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

③練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（７）皮膚真菌症（トンズランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任におい

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　て必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、

　　　　　　　　　　　　　　　　迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した

　　　　　　　　　　　　　　　　場合は、大会への出場ができない場合もある。

　　　　　　　　　　　（８）全日本柔道連盟「試合場におけるコーチの振る舞いについて」を採用する。

　　　　　　　　　　　（９）今後の新型コロナウィルス感染症の状況によっては、大会の中止も含め変更の可能性もあります。その際は、連絡いたします。

　　　　　　　　　　　（10）Ｒ４県新人戦の結果とＲ５春季大会（４月開催予定）の結果の合計ポイントで、７月の県総合体育大会のシードチームを決定する。（同ポイントの場合は、春季大会の成績を優先する）

☆以下のポイントでシード校を決定

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 大会名 | １位 | ２位 | ３位 | ベスト８ |
| 県新人戦ポイント | ５ | ４ | ３ | １ |
| 県春季大会ポイント | ８ | ７ | ６ | ３ |